

校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和7年3月7日
第39号

学校HPでも紹介したのですが、先だって「わかば級」担任の寺崎先生から、子供の頃から使っていたご実家のピアノを学校に提供したい、との申し出がありました。「今はもう誰も弾いていない古いピアノですが、せっかくならば子供たちに親しんでもらいたいので…」と私費で運送業者さんや調律師さんの手配もされました。こうして55歳のピアノは村椿小学校のランチルームで「第2の人生（ピアノ生?）」を送ることになりました。去る3日（月）にお披露目のミニコンサート（「だれでも参加コンサート」）が開かれ、卒業を控えた6年生2名と学校司書の村椿先生、そして寺崎先生が演奏をし、集まった皆で音楽を楽しみました。

これまでも暑さ・寒さ対策で、エアコンの効くランチルームでの式や集会を行うことができました。ピアノはそういった場面で活用できそうです。また、使い方のルールを決めた上で「ストリートピアノ」のように楽しむこともできそうです。せっかく寄贈していただいたピアノを大切にしていきたいです。

1年間の成長が感じられた計算大会

今年度3回目となる「校長杯計算大会」を、2月27日（木）にたし算、3月5日（水）にひき算の日程で実施しました。過去2回と同様、今回も全校で同じ問題用紙に向かい、朝の2分間集中して取り組み競い合いました。

★やればできる！ 平均点アップ、のびたで賞、ニュースターも続出しました

これまでの経験から、3回目の大会は少しマンネリになるかな？と心配していたのですが、集まった答案からは思っていた以上に皆一生懸命に取り組んだことがよく伝わり、丸付けのやりがいがありました。

① 欠席者が少ない！ オープン参加の大人も含めて、たし算は114名、ひき算は109名の参加がありました。

② 平均点がさらにアップ！ 「年間のびたで賞」が続出！ 1回目から比べると、たし算は約15点、ひき算は約10点、全校の平均点がそれぞれ上がりました。たし算では2、3、6年生の平均点が、ひき算では1、6年生の平均点が特に上がりました。大人の中にも点数が上がった人が多かったです。

1回目と比べ点数が大きく伸びた人を「年間のびたで賞」として表彰します。25点以上伸びた子が、たし算では15人（最高は71点のびた6年のRさん）、ひき算では13人（最高は96点のびた6年のHさん）でした。

★「とにかく練習をたくさん」 ひたむきに時間をかけて取り組むことの大切さ

たし算、ひき算とも全校1位の計算王は6年のHさんでした。たし算は193点、ひき算はなんと200点！ 単純な計算問題とはいえ、2分間でここまでたくさん解いた小学生は、私の「校長杯計算大会」歴でも新記録、最高記録です。

ランチルームでの結果発表の際に、Hさんにインタビューしました。「どうしたらこんなにすごい点数が出せるのですか？」と聞くと、「とにかくたくさんプリントを解いて練習しました」とのことです。なるほど、練習は裏切らないということなのでしょう。続いて「計算が好きになりましたか？」と質問すると、少し間があってから「…はい」と答えてくれました。もしかすると、Hさんは単に「計算が好き」というよりは、「一生懸命頑張ると結果が出せることが楽しい」のかもしれません。それならそれでなおさら素晴らしいことだとも思います。それぞれの目標に向かってまずはひたむきに、時間をかけて取り組んでみるのが大切なのでしょう。つばきっずの真面目さと伸びしろの大きさを感じた今回の計算大会でした。そして、先生方の協力性と前向きさも…。全校を挙げて大会を盛り上げていただき、校長としても「感謝！」しかありません。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（ ）



4月の入学を待っているよ！ 年長さんとの交流会

5日（水）、村椿保育所の年長さんと1年生との交流会がありました。あいにくの雨の中、年長さんは保育所からしっかりと歩いてやってきました。1年生が考えたプログラムにそって、教室での「お勉強」や読み聞かせ、体育館での運動等を楽しみました。校長室にも探検に来てくれました。

10月の就学時健診の時にも感じたのですが、年長さんの受け答えや態度が皆立派で感心しました。4月の入学が今から楽しみです。1年生も、お兄さんお姉さんらしく、はりきって活動していました。



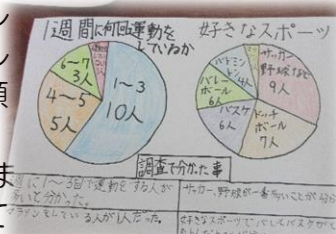
シリーズ「教室におじゃまします」3月3日(月)4年国語科の巻

学年末の「話す・聞く」の学習として「調べて話そう 生活調査隊」の学習に取り組んできた4年生。この時間はいよいよ各班の発表でした。まず教科書を参考に、発表の方法を確認します。渡邊先生は例として自作の調査内容をまとめていて、それを基に説明を進めました。もちろん各班にもそれぞれの調査内容の紙が仕上がっています。よく見ると円グラフや棒グラフなど、算数の学習内容を生かすようになっているのが工夫点で、面白いです。



しばらく時間をとり、各班の練習タイムでした。教科書の例文を見て一字一句発表原稿を書こうとするのではなく、どの班も「まず～の調査結果です」「次に～」といった話の型に適宜言葉を当てはめる形で臨機応変に話しながら練習をしているのがすごいと思いました。自分たちの発表したい内容がしっかり頭に入っているからこそだろうと思います。

その後5つの班が順に前に出て発表をしました。練習したことを生かし、協力し合って発表している姿が素敵でした。



<おまけのひとりごと>計算大会たし算で今回、彗星のように全校3位に躍り出たのは6年生のRさん。丸付けをしながら、私は目を疑い（失礼！）、2回目までの彼の成績を確認しました。やはりぐんと点数が伸びています。158点という素晴らしい点数でした。その日のうちにランチルームで結果発表をしますが、Rさんを紹介するとやはり会場内に軽いどよめきがあり、その場で起立したRさん本人は照れくさそうであり、どや顔のようでもあり、放送席と近い席だったので個人的にはかなり楽しい瞬間でした。あとで聞くと「今回は頑張ろうと思って練習した」とのことでした。年間一番のびたで賞の71点アップ！ やればできるは本当です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()